



7月に入り暑さに拍車がかかりましたが、子どもたちは目前に迫った夏休みをとっても楽しみにしているようです。1学期もあっという間に終わりを迎えようとしています。7月には支援教室の面談と在籍学級の面談があります。限られた時間なので、有意義な面談にしていきたいと思っています。

今月は新しくやまほうし・やまゆりに仲間入りした人が多く、小集団や休み時間がにぎやかになり、子どもたちは大喜びでした。仲のいい友だちが増え、かわりをもたせることにより、集団生活で活かせるスキルがさらに身に付くよう、私たち教員も精進してまいります。

## ★6月の学習の紹介

### 【勝ち負けの受け入れ モルック】

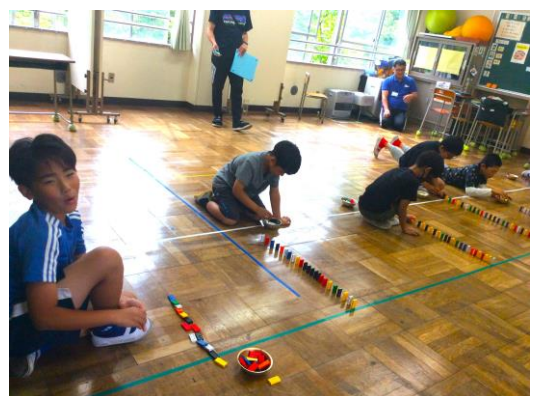
勝ち負けの受け入れ part 1では、モルックというフィンランド生まれのスポーツをチームに分かれて行いました。ゲームを始める前に、ルールや作戦の説明をすると、子どもたちは自分たちで話し合い、協力しながら試合を進めていました。勝っても喜び過ぎない・負けても怒り過ぎない、いじけすぎないことを意識して、勝っても負けても結果を受け入れて気持ちをコントロールしていました。多くの子どもが「クラスに戻っても、勝ち負けを受け入れながら友だちと楽しく過ごしたい。」と振り返ることができました。



### 【勝ち負けの受け入れ ドブル・ドミノ・虹へび】

勝ち負けの受け入れ part 2では、見る力の「ドブル」、微細運動の「ドミノ」、完全に運要素の「虹へび」を行いました。先週のモルックとは違い、個人戦の勝ち負けを3つ行いました。

自分の今の気持ちを考えるために、「自分ひこうき」のプリントを使いながら「勝った自分はどのくらいの気持ちになるんだろう…」「負けた時の気持ちはこれくらい落ち込むな…」といったような、自分の気持ちを飛行機の航路で表し、自分の気持ちを可視化する活動をしました。



### 気持ちのコントロール



気持ちをコントロールして、なるべく

真ん中を飛べるように頑張ろう！

## 【レッツ、ペアワーク！】

ペアの友だちと相談する、自分の役割をやりとげることをめあてにペアワークを行いました。牛乳パックを切り、星形にホチキス留めをしてセロファンに光を通し、まるで光の宝石箱に見えるような素敵な工作をしました。しかしその分、工程数が非常に多く複雑で、子どもたちは苦戦を強いられていました。それでも、「僕がこっちやるからそっちお願い！」「私ちょっと作り方見てくる！」とペアの友だちと話し合いながら連携し、工作をやり遂げていました。とてもすてきな作品が出来上がったので、やまほうし・やまゆり前の廊下の窓に飾りました。ぜひ9月の保護者会などで見に来ていただけると嬉しいです。



## 【協力ゲーム：キックベース】

ある日、やまほうし・やまゆりの職員室のポストに一通の手紙が…。それはなんと「快投ヤーマ」からの挑戦状でした。快投ヤーマから課せられた3つのミッション「周りを見て協力する」「友だちを応援する」「失敗してもふわふわ言葉を使う」を達成するために、子どもたちは周りを見て守備位置を工夫したり、「ドンマイ！」や「ナイス！！頑張れ！！」といった言葉を友だちに送ったりしました。キックベースを通して協力・応援・励ましといった様々な力を培うことができました。振り返りでは、「教室に戻っても友だちと励まし合いながら協力していくことを頑張りたい。」という声が聞こえてきました。



## 【お楽しみ会の話し合い】

いよいよ1学期のやまほうし・やまゆりの活動が終わろうとしています。毎学期恒例のお楽しみ会へ向けて、話し合いをしました。1学期にやまほうし・やまゆりの小集団で学習した内容から、2つに絞る話し合いをしました。意見をまとめるうえで必要なポイント「ゆずる」「ていあんする」「おねがいくる」を意識しながら話し合いをしました。司会を中心に、お互いに意見を出し、「自分も友だちも笑顔に」なるようなお楽しみ会へ向けて話し合いをしました。子どもたちは各自個別の時間を使って自分も友だちも笑顔になれるようなお楽しみ会へ向けて準備を進めています。



## 【お知らせ】

※7月は6年生と希望者の面談となります

①7月21日（火）～24日（金）は支援教室の面談週間となります。

②日程のご変更がある場合や追加で面談希望の場合も、遠慮なくご連絡ください。